

**おさがりフリマ**  
～スキー用具ver～  
～お陰様で、感謝～

日時: 11月7日(日) 致芳地区文化祭 9:00～14:00  
会場: 致芳コミュニティセンター(ALL致芳町会事務局アス) [出品・販売品] スキー用具全般(スキー・ストック・スキー靴・ウェア等)

地域に呼びかけたチラシ。お陰様で大量の出品が！



おさがりフリマは、「致芳版 SDG s」



学年部会事業は、地域密着の内容



平和の鐘は、平成7年度 PTA が文部大臣賞受賞を記念して建立

(平(直)) 保護者からは比較的、好意的な印象であつたと感じる。ただ、コロナ禍でもありみんなで集まつて意見を交わすことができなかったのが残念だった。

(牛澤) スキー用具のフリマは、実際に困っている保護者の声を参考にした事業であり、効果があつたと思われる。

(平(直)) 裏話になるが、開催1週間前には、全く物が集まらず、急遽、作戦会議が集まった。正直、焦つた。スタッフは、家からスキーを持ってきて、最終的に「サクラ」として飾るうとまで話した(笑)

(牛澤) みんなで地道に声掛けをしようと動いた。最終的には販売ブースから溢れる程の量が集まった(笑) おかげ様でスタッフも人員不足と言える程大忙しになった。

(平(直)) 今度は、バージョンを変えたフリマに挑戦してみたい。例えば、学習用具やスポーツ用品など。

(鈴木(義)) 学習用具は、高額なものもある。おさ

がり品で十分なものもあるように思う。

(横澤) 地域の人に興味関心を持ってもらうためにはどうしたら良いか考え、見せ方を工夫した。今、小学校が地域に求めていることを具体的に提示したことは画期的だったと思う。学校の支援に自ら手を挙げるといふことは勇気がいること。今後も、コミセンが小学校と地域の間に入って声掛けし、手を挙げやすい雰囲気づくりを担ってきたい。

(鈴木(義)) 表に出なかつた企画やアイデアを聞いてみたい。特に、私に怒られそうな事業というものを(笑)

— 致芳の強みとは —

(平(み)) 校長先生は、これまで色々な学校を見て来られたと思うが、致芳の強みとはどこにあると思うか。

(鈴木(義)) 簡単に言うと、基礎体力・地盤がしつ

かりしているところである。特に、致芳教育会の会員は、全世帯全員であり長年の歴史がある。また、致芳の象徴とも言える「平和の鐘」は、平成7年度にPTAが文部大臣賞を受賞した時にできたもの。私の妻がちょうど、事務職でお世話になっていた時期であり、その当時の盛り上がりは、重々聞いている。当時のPTA会長は、牛澤会長のお父さんである美行さん。次の世代がしっかりと「和致芳」の精神を受け継いでいることが素晴らしい。この若手の台頭、活躍する姿が他の地区にはなかなか無い。

(平(み)) 新陳代謝と言えるかな？「コミセン活動では？」

(横澤) 地域全体が高齢化によって、役の成り手不足が深刻であるが、「コミセン」の活動を見ると、若手のパワーをひしひしと感じる。「コミセン」に集まってくるメンバーも新陳代謝している。他の地区からすれば羨ましく見えるのではないかな。

(鈴木(義)) 全校集会でコアメンバーが子ども達に一生懸命「致芳愛」を語る姿がとっても輝いて見えた。それは、実際に地域に貢献しているからである。心にも響いた。特に、「コアメンバー」が中心となって、楽しそうに活動している姿が印象的。保護者の皆さんも地域で活躍している人がたくさんいることも見